

# 開会の辞

立教大学日本語教育センターシンポジウム 2023

## 正規学部留学生受け入れの新時代 2 — 21 世紀を変えていく人材を 立教大学から世界へ —



外国語教育研究センター  
准教授

シュロスブリー 美樹 氏

○小松 みなさま、本日はお忙しい中、立教大学日本語教育センターシンポジウム 2023 にご参加いただきまして誠にありがとうございます。本日の司会進行役を務めさせていただきます、日本語教育センター員の小松満帆と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本シンポジウムは、教室内に設置されておりますカメラならびに Zoom の録画機能を使いまして、記録させていただきます。後日、本シンポジウムの内容をまとめた冊子を作成する際と、本センターの広報に使用させていただきます。ご了承の上、ご参加ならびにご視聴いただけますようお願いいたします。オンラインでご参加の方は、カメラとマイクをオフにして、ご発言の際にオンにしてください。申込の時のお名前を表示してください。

初めに開会の辞を頂戴いたします。立教大学外国語教育研究センター准教授、シュロスブリー美樹先生、よろしくお願いいたします。

○シュロスブリー ただいまご紹介にあずかりましたシュロスブリー美樹と申します。今年度より立教大学国際センター副センター長を務めさせていただいております。今日は本シンポジウムの開会にあたり一言ご挨拶したいと思います。

私は外国語教育研究センターで英語教員をしているということもありまして、海外に留学を希望する学生さんたちとお会いする機会はよくありますが、逆に、本学で学ばれている留学生の皆さんとお会いする機会というのは今までほとんどありませんでした。今日はそういうことから、先生方と留学生の皆さんの両方のお話をお聞きすることができるということで、とても楽しみにしておりました。このあと、専門の先生方からお話が続きますので、本日のシンポジウムの内容については、そちらをお聞きいただきたいと思います。私からは本日の概要を讀ん



日本語教育センター教育講師、  
日本語教育センター員

### 小松 満帆 氏

で感じたことを少し述べさせていただきます。  
2022年の9月より、従来よりも多様な国、地域からの正規学部留学生受け入れ制度が始まったということは本当に素晴らしく、きっと今後、学生同士が大きな影響を与え合うことになるだろうと思います。そしてそれは何となく音楽の波及効果のようなものではないかなという気がします。実は、私は世界の民族音楽が大好きで、私自身は日本の篠笛と、沖縄三線を弾くのですけれども、今日のメンバーを見まして、ベトナムとモンゴルにはどのような楽器があるのかに興味を持ち調べてみました。ベトナムには、弦が1つの琴のような「ダンバウ」という楽器があって、1本の弦の張りを調整しながら音程を変えて演奏するそうなのですが、YouTubeで見たらとても綺麗な音色でした。モンゴルのほうにももちろんたくさんの民族楽器がありますが、ホーミーという歌い方はご存じでしょうか。倍音というのは普通聞こえないのですけれども、ホーミーの歌い方ですと、高い倍音のピッチも自分でコントロールすることができて、要は低い音と高い倍音を両方一緒に、同時に違う音程で、メロディーで演奏することができる、すごく素晴らしい歌い方なのです。これもYouTubeで見ただけですが、びっくりしました。

話を元に戻しますと、この新しい制度によって、正規留学生が増えていくというのは、音楽でしたら、オーケストラの中にこういう新たな楽器、しかも素晴らしいプレイヤーの方たちがどんどん参加してくる、そういう状況に似ている気がします。おそらく、音楽全体に与える影響はかなり大きいのではないかと思います。大学としてできることは、留学生と日本人学生が触れ合う機会や、ともに学ぶ機会を提供し、そして一緒に世界のさまざまな問題について異なる視点から討論する機会を設けることなどが挙げられるかと思います。音楽でも合奏の練習を通して理解が深まっていくように、学生同士が学びながら、ディスカッションを重ねていくと、お互いがより強く影響され合っていくと思います。

今後、キャンパスでの多様性がさらに広がり、いろいろな国の留学生とともに、本学のリベラルアーツを基盤とした教育を進めていくことができるということ

思いますと、豊かな未来をつくることに大学がこれまで以上に貢献できるのではないかという希望を感じます。ぜひ今日の会が実りの多い会となりますよう、心から祈念いたしております。

それでは、これにて開会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○小松 シュロスブリー先生、ありがとうございました。

それでは、本日の資料の配付についてご説明します。配付資料ですが、ご来場の皆様には、会場の入口で資料をお渡ししております。オンラインでのご参加の皆様には、Google ドライブを使ってお渡しします。ただいまから Zoom のチャット欄で、ダウンロード用の URL をお知らせいたしますので、そちらからダウンロードなさってください。

それでは、本日の流れをご説明します。本日のシンポジウムのテーマは、「正規学部留学生受け入れの新時代 2—21 世紀を変えていく人材を立教大学から世界へ」です。

第 1 部では、3 名の方にご講演を行っていただきます。ご講演は、国際化推進機構長、法学部教授、松井秀征先生。経済学部教授、経済学部長、荒川章義先生。日本語教育センター長、異文化コミュニケーション学部教授、池田伸子先生です。

そして、休憩を挟みまして、パネルディスカッションを行います。パネルディスカッションでは、パネルコーディネーターとして、異文化コミュニケーション学部長、日本語教育センター員、丸山千歌先生。パネリストとして、立教大学法学部法学科 3 年、西山花音さん。経済学部経済学科 3 年、大橋勇斗さん。経済学部経済学科 1 年、フレルホヤグ・ビルグーンさん。経済学部ファイナンス学科 1 年、チュオン・ロン・キムさん。社会学部メディア社会学科 1 年、ナム・フォン・ミンさん。経営学部国際経営学科 1 年、ヴー・チャン・ゴック・イェンさんにご登壇いただきます。

なお、ご講演およびパネルディスカッションの後、質問の時間を取る予定であります。また、本日はコメンテーターの方も海外からお招きしております。シンポジウムコーディネーターの池田先生より、今回のシンポジウムの趣旨をご説明いただき、コメンテーターの方のご紹介をいただきます。池田先生よろしくお願いいたします。